

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表
----	--------------------------

○事業所名	チャイルドウツシュかわしま			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和8年1月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動、個別活動を組み合わせた活動プログラムを提供している。児童の成長を観察しながら支援の固定化がないよう児童に適した療育提供をしていく。	活動会議1/月実施して児童の課題となっていることを話し合い児童に適した療育を提供している。	集団活動、個別活動ともに各指導員が提案するプログラムの分析⇒支援提供
2	専門性の高い支援提供の実施	児童の特性や課題を分析し児童へのアプローチの仕方を工夫している。	日々の記録を活用し支援の分析⇒実行
3	保護者様や関係機関との連携を大切にしながら情報収集、情報提供に努めている。	日々忙しい保護者様との連絡方法としてSNSの活用をし見返すことができるよう行事、イベント等案内している。	保護者様に一番良い方法を聞きながら情報提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援として指導員が直接ペアレントトレーニングの取り組みができていない。	児童の活動の取り組み方や課題となっていることの把握をし保護者様に報告はしているが助言はしていない。	児発だけでなく指導員が保護者様との交流の機会を増やし児童の課題や子育てにたいする悩みについて助言のできる場面を増やす機会が必要
2	地域交流が少ない	活動の一環として地域交流ができる活動の立案が必要	事業所としてどんな地域参加ができるのかを考えていかなくてはいけない
3			